平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	9 ― 15

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		農務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主事
		氏名	石井弘道		氏名	川口　敦史
事業の概要	昭和56～58年度に道営営農用水事業にて整備された共栄中雄武営農用水施設について、近年橋梁添架管路部分（豊年橋・雄栄橋）からの漏水が発生し、平成15年度に5ヶ所、平成19年度に20ヶ所を応急的に町単独費にて補修を行っているが、補修後に未補修部分への被害が拡大する状況にある。原因は添架管の保温構造にあり、二重管の内部管（鋼管）の腐食による漏水である。よって、応急的補修では解決できないため、本事業にて抜本的対策を図る。			全体計画 /単年度繰返 （平成 22 年度～ 23 年度）		
				事業費	国・道支出金	27,324 千円
					地方債	22,300 千円
					その他	千円
					一般財源	56 千円
					事業費計	49,680 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第5期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～			
	基本施策	1	農業の振興			
	単位施策	1	土地基盤の充実			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	8,662 千円	18,216 千円	千円
	地方債	千円	千円	7,000 千円	14,900 千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	88 千円	4 千円	千円
	合計	千円	千円	15,750 千円	33,120 千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	共栄中雄武地区営農用水受益者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	配水管の老朽化による漏水	漏水箇所の抜本的修繕		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	修繕工事による漏水の停止	① 工事計画 橋梁添架管更新	目標年度	平成22年度
			目標値	40 m
			実績値	40 m
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	ライフラインの安定	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①事業の選定	道補助事業での実施
②橋梁添架管更新	雄栄橋　L＝40m

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	■義務的なもの ■全部 □一部	雄栄橋の橋梁添架管が老朽化によって漏水しているため、水の安定供給に支障が生じていることから、早急に改善する必要がある。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	橋梁添架管の更新により漏水が解消し、安定した水の供給が図られた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	橋梁添架管の選定にあたっては必要最低限の管種を選定し、事業費の抑制に努めた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある ■受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	営農用水施設の維持管理は地域の水道利用組合が担っていること、また、施設の電気代、薬品代等の維持管理費は各組合員が負担しており、行政が実施するのは施設の基幹的な部分の改修だけであり、公平であると判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
漏水箇所の解消により、安定した水の供給を行うことができた。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
豊年橋の橋梁添架設管についても同様な更新が必要なので、計画のとおり継続して実施する。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）